

□【日程と時間】

二学期通常授業は 12/15 日(火)最終日で、中1中2は 12/24(火)～1/10(日)、中3は 12/24(火)～1/14(木)が講習会期間です。※12/1(火)より講習生も修業を受け付けています。三学期通常授業は1月19日(火)スタートです！

日程表	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1/4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
コマ	時間帯	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	火
①	10:30～11:20				小	小			小	小		小	小													
②	11:30～12:20				小	小			小	小		小	小													
③	13:40～14:30			③	③	③			③	③		③	③			道 コン (中1 中2)	道 コン (小・ 中3)	小	小	小	小					
④	14:40～15:30			③	③	③			③	③		③	③					小	小	小	小					
⑤	15:40～16:30			①	①	①			①	①		①	①													
⑥	16:40～17:30			①	①	①			①	①		①	①													
⑦	17:40～18:30			②	②	②			②	②		②	②					③	③	③						
⑧	18:40～19:30			②	②	②			②	②		②	②					③	③	③						
⑨	19:40～20:30		高		高				高		高	高				高		高	高	高						
⑩	20:40～21:30		高		高				高		高	高				高		高	高	高						

※表の①は中1、②は中2、③は中3です。塾生は全員 20コマ 10日間コースです。
 ※講習生は塾生と同じコースか、5日間コースです。5日間コースの講習生は表の10日間から選択してください。
 ※塾生は、12月度1週間分と1月度2週間分の計3週間分を、冬期講習会の一部に振り替えて日程を組んでいます。
 ※1回の講習が、50分授業×2コマです。コマとコマの間に10分休憩があります。
 ※新型コロナの影響で、上記MIEC講習日程で参加が困難なコマは相談してください。
 12/1～12/23の期間内で振替を提案します。

□【遅刻・欠席について】

- ①10分前くらいにMIECに入り、授業開始時刻5分前までには着席していること。
 ※10分以上前に来ると待ち合いの休憩室が三密になるので注意！
- ②予定通りに参加できるように、毎日のスケジュールをしっかり管理してください。
- ③それでも遅刻・欠席を希望する場合、出来るだけ早めに連絡ください。無断遅刻・無断欠席は絶対にしてはいけません！生徒本人が、理由を連絡するように。
 【連絡方法】・・・メール⇒ info@miec.biz ・ライン⇒info@miec
 ※両親の携帯からの場合、最後に「〇〇より。」と自分の名前を。
- ④欠席した分の授業はどんな理由でも振替の授業は行いません。しかし、「修業」を自

分で予約することで穴埋めができます。欠席した分はもちろん、追加補習としてもどんどん利用してください。先生から修業に来るようにアドバイスすることもあります。
 ★講習期間中の⑨⑩コマ目は少人数ですのでお休み分の穴埋めにおススメです。

□【修業について】～RSとOSがあります～

MIECの自習システムのことです。塾生はもちろん、講習生もMIECの自習室をどんどん利用してください。学校の予習復習をしたり、MIECの宿題をやったり、先生の空き時間には個別指導も受けられます。ただし、**予約フォームで前日 17時 30分までの予約が必要**です。予約フォームの使い方はラインかメールで送信します。集中できる静かな自習室です！ただ、大学受験生もたくさんいるのでルールはしっかり守ること！！※自習室利用者は「自習室のルール」プリントを必ず読んで守ること。プリントは廊下のレターケースにあります。
 ※講習会を欠席してもその振替授業はありませんので、この修業で穴埋めしてください。
 ※修業は新型コロナ対策としてオンラインでも実施します。予約方法は同じです。
 ★修業可能コマは、予約フォームかホームページ右上スケジュールで確認できます。※講習会の日程表と一部異なります。
 ★リアルな修業をRS、オンラインでの修業をOSと呼びます。オンライン修業(OS)を希望する場合、別紙『中学生のオンライン修業(OS)について』を読んでください。
 ★個別指導においてはOSの生徒よりRSの生徒を優先して行います。OSは個別指導の割合が少なくなり、自習の割合が多くなることをご了承ください。

□【新型コロナ対策について】

- 【基本方針】十分な感染予防体制で講習会を実施します。各ご家庭での出欠のご判断を尊重いたしますが、お休みの場合はいつものようにご連絡をお願いいたします。尚、状況次第では変更となりますのでご了承ください。
- 【運営体制】
- ①体温 37.0℃以上を含む風邪の症状の生徒さんはお休み願います。また、症状がなくても通塾にご不安の方はご遠慮なくお休みください。
 - ②講習会の欠席は修業で穴埋めとなり、振替授業はございません。
 - ③修業は、少人数分散を維持したままの継続となります。予約先着順で人数制限し、その代わりオンライン修業で拡大実施します。予約調整の際はご協力をお願いします。予約方法は予約時刻を確認できるライン・メールのみとします。※修業はRS(リアル修業)とOS(オンライン修業)が選択できます。※個別指導はOSの生徒よりRSの生徒が優先されることをご了承ください。
 - ④速読は通常にいつもの時間帯で行います。※テラスは自宅受講も可能です。配布済みの実施方法のプリントをご覧ください、ご不明点はお問合せください。
- 【感染予防体制】
- ①密集対策⇒各教室の生徒数を少なくし、一人分の席を空けるかついたてで隔て、指定席にて着席させます。

- ②密閉対策⇒各教室の換気扇や空気清浄機を常時回し、風通しを良くしています。
- ③密接対策⇒講師も生徒もマスク着用とし、個別指導エリアでは講師と生徒の間に透明シートを設置しています。
- ④手洗い・うがい⇒入室時は全員行います。滞在中も2時間に1度は手洗いです。休み時間一斉手洗いの密集を避け、時間を問わず励行します。
- ⑤休憩室⇒食事は原則禁止ですが、ご家庭の事情に合わせて柔軟対応。匂いの少ない軽食は教室でも許可。同時使用人数を制限しています。
- ⑥除菌⇒生徒が手に触れる所(手すり・ドアノブ・机・椅子・パソコンキーボードやマウスなど)の除菌も毎日しています。

□【速読について】

冬休み中の速読も、いつもの自分の時間帯に行ってください。振替希望はカウンターの恵里さんと調整してください。★講習生や速読をやったことが無い人は無料体験をやりましょう。カウンターの恵里さんに申し込んでください。

□【進捗表について】

いつ・どの教科のどこを学習するかがこの進捗表でわかります。予習する範囲もわかります。また、自分がこの講習会でどれくらい進んでいるかが一目でわかります。マスター進捗表と自分用進捗表があります。中身は同じです。マスター進捗表は塾で使い、塾に置いてゆきます。自分用進捗表は授業の最後にマスター進捗表から自分で書き写して(ハンコは赤丸で、青矢印はその通り青ペンで)お家に持って帰ります。次回の授業には忘れずにもってくること。

□【北海道学力コンクールについて】

道コンは北海道で最大の「全道の模擬試験」です。講習会の成果をこの学力コンクールで発揮してもらいます。目標としてください。定規・コンパスも忘れずに。

	集合	国語	数学	社会	理科	英語	解散
中①1/10	13:20	13:40-14:20	14:30-15:10	15:20-16:00	16:10-16:50	17:00-17:40	17:50
中②1/10	13:30	13:50-14:30	14:40-15:20	15:30-16:10	16:20-17:00	17:10-17:50	18:00
中③1/11	13:00	13:20-14:05	14:15-15:00	15:10-15:55	16:05-16:50	17:00-17:45	18:00

★道コンを受けたら必ず「道コンのやり直しの仕方」プリントの通りに書き直しをすること！

□【持ち物】

- ①初日:「はげみ」や「得点通知表」など各中学校の成績表
- ②毎回: ●講習会テキスト ●はさまっている解答解説やテスト ●スリッパ(靴下でもOK)
 - 筆記用具(赤ペン青ペンは必ず) ●『手引き』 ●『自分用進捗表』
 - 水分補給飲料(水筒・ペットボトル)※自由。
- ③社会のある日: ●地図帳
- ④国語のある日: ●国語辞典(電子辞書可)

- ⑤英語のある日: ●辞書(電子辞書可)※本の場合はカタカナのあるもの。
- ⑥MIECでは特別に、飲み物やアメ・ガムなどの持ち込みを許可しています。

【講習会の進め方】～勉強のやり方～

□①宿題をもらう・・・もらった宿題を、どの順番に、どのくらいやればよいか。

【1】授業の最後に、先生が一人ひとりの「進捗表」に青い矢印を記入します。それが次回の授業までにやってくるべき宿題であり、その宿題をすることが予習となります。

★講習会初日までの宿題について★

⇒進捗表の「第一講座」のレベル1・2・3をできる範囲で自由にやってください。※レベル1の「準備テスト」は省略してもよいです。
⇒教科ですが、できるだけ全教科。少なくとも2教科を進めてきましょう。

【2】進捗表を見てください。たくさんの小さい□がありますね。その1つ1つに青矢印を先生が記入して細かく宿題を出してゆきます。

【3】「レベル1」⇒「レベル2」⇒「レベル3」の順にやってください。

- 「レベル1」はとても大切な部分です。必ず全員がやるように。レベル1があまり自信のない場合、レベル2、3をいい加減にやってしまうより、レベル1にしっかり時間をかけてください。たとえレベル2、3の予習ができなくても、レベル1がしっかりできれば、講習会の時間内でレベル2、3ができてしまうこともあります。あまりわからずいい加減にレベル3までやってしまうと、講習会では先生にハンコをもらえず逆に勉強が進まないこともあります。よく注意してください！
- 上位を狙いたい人は、レベル3までがんばってやってください！

□②宿題＝予習のやり方・・・ここからMIECの具体的な勉強法です。

【1】『進捗表』を見て宿題を確認してください。そしていっぺんにはできないので、まずは自分で「区切り」を決めてください。進捗表にはたくさんの□がありますが、その□1つ1つを区切りの目安(めやす)とします。自信の無い場合は□1つで区切れればよいし、自信のある場合はいくつかの□をまとめて1区切りとしてかまいません。また、□1つでも多くて大変なときには、自分でもっと小さく区切ってもかまいません。(たとえば問1だけで1区切りとか)この1つの区切りごとに下の【5】までやって、次の区切りに進むこと。

【2】その1区切りを「テスト」だと思って自分の力だけで解く。ノートなどに解くのではなく、直接テキストに書き込んでください。この時、解答解説は目の届かないところに置くこと。解き終わったら「赤ペン」で自己採点。「赤ペン」で丸かバツをつけてから次へ進む。だから、自分で決めた区切りごとに解答を開くこととなりますね。解いているときは解答は閉じて！繰り返しますが、問題を解いているときは解答は絶対に見ないで！ ※全くわからない問題は空欄にして赤ペンで×をつけることとなります。テストと同じです。解いているときは生徒の気持ち、自己採点しているときは先生の気持ちになってください。

【3】「赤ペン」で自己採点した結果、バツだったところと丸でも自信のないところは、

テキスト・解答解説・教科書などで再勉強してください。このときに、間違った答案は消しゴムで消さないでください！ 再勉強が終わったら解答を閉じ、再テストのつもりでもう一度解いてください。このとき、あいている余白に鉛筆でやり直すこと！そして2回目の自己採点を「青ペン」でやってください。

【4】 それでもわからないところや、答えはあっていたけど自信がないところには「？」マークをつけておく。そして「？」マークのそばにどういうふうにわからないのかメモを書いておく。塾で質問するときにとっても便利で勉強がはかどります！それで、塾ではこの「？」問題に特に集中して質問すればいいのだ。わかるまで必ず教えてあげます。★自己採点がやりづらい問題は、講習会中に質問して先生に採点してもらってください。(主に記述問題や証明問題などです) ★記述問題や証明問題の解答を先生にお願いする場合、解答解説のその問題にあたる部分を赤ペンでマークして先生に見せるようにしてください。スピーディーに丸つけができます。

【5】 予習が終わったら、進度表の口の中に、「やってありマーク」を書き込んでください。鉛筆で口の中に小さい丸を書き込んでおくだけです。わからなかったところでも、自分なりに「考えて質問がある」のであれば書き込んでおくように。MIECでは、予習のときに自分ではわからなくても質問を用意して来た場合は宿題はやったことになっています。そしてこの「やってありマーク」で君たちがどれくらい予習してきたかを先生達が確認できるようにしています。やっていないのにやってありマークを付けると注意されます。

【6】 **自己採点について。**

- 一つ、本当はよくわかっていないのに「丸」をつけない！
- 一つ、本当は覚えていないのに「丸」をつけない！
- 一つ、正解であっても、自信がなければ「？」をつける！

【7】 **解答解説の利用について。** 予習のやり方の【3】でやり直し＝再勉強をする時に、解答解説には大切なことがまとめてあるので、しっかり読んでください。そして解答解説の「大事だな」と思われることはテキストに書き込んでおく習慣をつけるようにしてください。解答解説は、解答を見て丸付けするためだけのものではなく、解説を熟読することのほうが大切です。繰り返します、解答の解説を熟読するように。

★解説を読んだ という証拠として、必ず蛍光ペンでアンダーラインをひくこと。

【8】 **おぼえることが大切。** テキストの「まとめ」のページでは問題を解くことより、暗記することに力を入れてください。暗記するには「声に出す」「紙に書く」ことです。特に理科・社会の予習では「暗記」をしてくるように。

【MIEC流の、いつもの勉強方法】

□ << 国語 >>

- **「漢字」**⇒テキストの文章中にある漢字のうち、自信の無い漢字を蛍光ペンでマークし、ノートなどに練習して覚えてきてください。塾ではマークしていない漢字もチェックさ

れます。※漢字を覚えるとき、意味も一緒に覚えると定着します。

- **「語句」**⇒テキストの文章中にある言葉のうち、意味がわからない言葉を蛍光ペンでマークし、意味をテキストの余白に書き込んで覚えてきてください。塾ではマークしていない語句もチェックされます。★言葉の意味がわかれば文章がわかります。
- **「熟読」**⇒テキストの文章を二～三回は読んでくること。塾では君たちが本当に文章を熟読しているかどうかを確かめるために、その内容について聞きます。
- **「問題」**⇒テキストの問題を、上の「宿題＝予習のやり方」で解くだけです。
- **「解釈」**⇒古典の問題のとき、古文を正しく読みながら口語訳（現代語訳）をすることです。1文ずつ、読むでは口語訳ができるようにしてください。口語訳をするときは、古文のどの部分のことを言っているのかわかるようにペンで指しながら進めるように。

□ << 数学 >>

- **「例題」**⇒テキストの中で解答や解説が書いてある場合があります。それを「例題」と呼びます。よく「時間がない！」などと言って、例題を飛ばし、それ以外の問題だけやる人がいますがそれではダメです。例題は必ずやってください。やるといっても必ずしもノートなどにキレイにやらなくてもよいです。解法の通りにきちんと自力でできることを確認さえできれば読んでくるだけでもよいのです。もちろん「一応できるかどうかやってみよう！」ということで計算用紙にやるのもよいです。とにかく「例題」は、正しいやり方を教えてくれている部分なのでとても大切なのです。★「この問題わかりません」と質問に来て、「その直前の例題をよく読んでごらん」と返すとあっさり「自分でわかりました！」という生徒がよくいます。気をつけよう！
- **「途中計算」**⇒MIECでは、「答えさえあっていればよい」という考え方で指導していません。自己採点で○がついていても、「その答えはどうやって出したの？」などとチェックします。でも途中計算をみんながテキストにきちんと書いておいてくれると、先生がそれを見れば「ああ、この生徒はこうやってやったんだな」と「どうやってやったの？」と聞かずにすぐにわかる場合があります。だから途中計算はできるだけテキストに書き込んで残してください。問題によっては図や表を使う場合がありますが、その図や表なども残しておいてください。
- **「筆算」**⇒しかし、足し算・引き算・掛け算・割り算などの【筆算】は、中学生にとってはもうメモです。それはテキスト以外の計算用紙などにやってください。筆算は塾ではチェックしません。テキストに残して欲しいのは解き方が見える「横書き」の途中式、途中計算、図、表などです。

□ << 英語 >>

- **「読めて言えて書ける」**⇒英語の勉強では、まずテキストの英語をすべて読めるようにすること。次に（日本語の）意味が言えること、最後にその英文を書けるようにすることです。英語が読めないのに意味だけわかってたり書けたりする人はいません。だから練習の仕方としては「読みながら意味を考える」と「書きながら意味を考える」ことです。これをいっぺんに「読んで書きながら意味を考える」ようにできれば速い！ 特に英単語を覚えることは英語学習の基本中の基本であり、そして一番大切なことです。な

んでもそうですが、たくさん持っていれば使いたくなります。英単語をたくさん頭に入れさえすれば英文にしたいくなるし、英会話もしたくもなってきます。

●**文法**⇒be動詞、一般動詞、三単現のS、進行形、不定詞、助動詞・・・なんだか面倒くさそうな日本語が文法です。「なんで英語やってるのに日本語の文法やるのか」って？実は文法は、「読めて言えて書ける」を速くする特効薬のようなものなのです。文法という法則を知ることによって速く勉強できるのです！だから、「be動詞と一般動詞の違いは何ですか？」とか「形容詞って何ですか？」「不定詞って何ですか？」のような普段学校では聞けないような文法の質問を、MIECでどンドンぶつけて、文法という武器をたくさん身につけてください！

●**まとめ・解説**⇒テキストの中で、「要点」とか「ポイント」という、大切なことをまとめてある部分があります。その部分は必ず熟読して覚えるようにしよう。それから問題を解くとわかりやすいです。問題だけやって空白を埋めたら終わり という勉強は間違っています。気を付けよう！

●**リスニング**⇒『聞くトレリスニング』を毎回やってもらいます。やり方は、進度表に書いてあります。講習会の授業がある日に必ず1つずつハンコをもらうように。英語の授業が無い日も毎回やってください。先生にハンコをもらうのはMIECの授業中・休憩中、いつでも構いません。あとで出てくる『過去問トレーニング』の中の英語にもリスニングはあります。英語のリスニング音声はMIECのパソコンにすべて入っています。ですのでリスニングだけは自宅ではできません。MIECで行うこと。

□ << 社会 >>

●**暗記**⇒社会は「暗記科目」です！まず、とにかく暗記することに時間を使ってください。たくさん暗記(=インプット)したら、問題を解き(アウトプット)しましょう。社会は各講座の前半がまとめページです。インプットです。社会1講座の中で、50%以上の時間をこの「まとめページの暗記」につかってください。ここでしっかり暗記すればするほど、次のページからの問題がスラスラ解けることでしょう。★まとめページを見ながら答えを書き写すことは禁止します。それは勉強ではありません。

●**問題を解く**⇒まとめページのあとにある、問題を解くページです。アウトプットです。まとめページが目に入ってしまうように、何かで隠しながら解いてください。繰り返しますが、まとめページから答えを探しながら書いていっても何の力にもなっていません。時間の無駄です。必ずインプットとアウトプットは区別して行うように。もう一度言います。問題を解くときは自力だけでやること！

●**解き直し**⇒問題を自力でやり、自己採点で赤ペン採点が終わってからじっくり見直してください。解答解説の解説も一緒に暗記すること！

□ << 理科 >>

●暗記の部分は社会と同じやり方です。

●計算問題は数学と同じやり方です。

□ << 全教科 >>

●**「過去問トレーニング」**⇒去年や一昨年の北海道学力コンクールの過去問題です。これの取り組みが、1/10本番の結果に大きく影響することがあります。進度表に青矢印で宿題が出たら、テキストと同様に進めてください。

過去問トレーニングがMIECの授業ですべて終わらない場合でも、道コン本番までには自宅ではやり通しておくようにしましょう。

●**「PPP」**⇒ポイントプリントのことです。大事なことを1枚のプリントにまとめたものです。宿題に出されたら、MIECのレターケースから自分で1枚もっていき、やるように。ハンコは進度表の「PPP」に押しってもらうこと。

●**解答解説**⇒自己採点したあと、必ず「解説」を読んで大切なことは覚えてください。解説を読んだ証拠として、必ず蛍光ペンでアンダーラインをしてください。講習会の授業中にチェックします。

【塾での進め方】

□**①まず「連絡カード」と「報告カード」**です。連絡カードとは先生から生徒への連絡事項をまとめて書いたプリントで、廊下のレターケースにあります。連絡カードは毎回出ますので、来なかった日の連絡カードは必ず読むようにしてください。報告カードは生徒から先生への連絡です。授業開始前までの記入しておいてください。予習をどれくらいできたか、予習が出来なかった理由、体調、その他何でも書いてください。直接言えなくても、書けば伝えられることがあるかも・・・。連絡カードも報告カードも、授業開始前に済ましておくように。だから授業開始時刻の5~10分前に来るようにしてください。

②**塾での個別指導**・・・マンツーマンで、一人一人のレベルに合わせて指導します。

□【1】教室に入って席についたら、まずカードQCです。カードQCとは、連絡カード[きちんと読んだかどうか]と報告カード[きちんと書いたかどうか]とマスター進度表[やってありマークをきちんと書いてあるかどうか]のチェックを受けることです。

※質問したいことがあるときは「QCボックス」の「Q」を上にして立てる。

※質問はなくチェックを受けたいときは「C」を上にして立てる。

□【2】そして勉強に入ります。予習の時につけた「？」のところの質問をしてください。質問のしかたは、自分の席にある「QCボックス」の「Q」を上にして立てるだけです。先生に名前を呼ばれたらテキストをもってその先生の前のイスに座り質問してください。わかるまで教えます。一度質問して、あとで忘れてしまってもまた質問できます。質問することはとても良いことです。遠慮しないでどンドン 質問を！

□【3】質問がなくなったら次の所に進む...ではありません！必ず先生にチェックしてもらい、ハンコをもらってから次に進みます。生徒が「わかっている」といっても、塾では本当にわかっているかどうかとか、社会や理科などは本当に憶えているかどうかなどを一人一人「チェック」します。チェックしてもらうには「QCボックス」の「C」を上にして立ててください。名前を呼ばれたらテキストをもってその先生の前のイスに座ってチェックを受けてください。QCボックスを立てて名前を呼ばれるまでの間は次

の質問やチェックの準備をしていてください。ただ「ぼ～っ」と待っているのは時間がもったいないです！そして、チェックに合格したらみんなのテキストや進度表に先生がハンコを押して次に進めます。※この時、解答解説をしっかりと読んだかどうかもチェックします。蛍光ペンのアンダーラインを！

□【4】質問とチェックの進め方。初めのうち慣れるまでは、進度表にハンコを1つずつもらうようにしてください。つまり、ハンコ1つ分の範囲の質問をし、質問がなくなったらチェックを受けてハンコ1もらい、いったん自分の席に戻る。これを繰り返してください。しかし、その動きに慣れてきたら「チェックをここからここまで一気にお願いします！」とハンコ2つ3つ分をいっぺんに進めて勉強のスピードをアップさせていってください。

また、ハンコをもらっていないのに、その先の勉強を勝手に進めるのはダメです。ハンコをもらいながら進めるように。例えば□3つ目に質問したい部分があっても、質問するのをちょっとがまんして、1つ目と2つ目の□にハンコをもらってから3つ目の□の質問をするようにしてください。※QCボックスを立てて、先生に名前を呼ばれるまでの間はその先の勉強をしているように。★MIECの授業はすべて「QC」です。生徒のみんながQCボックスを立てて質問かチェックをしなければ授業は全く進みません。どんどんQCボックスを立てて授業を進めてください！！

□【宿題】・・・授業の最後には、必ず次回までの宿題をもらってから帰ること。

宿題はMIECのルールの通りにやること。その通りにやらずに、例えばただ問題を解いただけでは、MIECでは宿題をやったことにはなりません。ルール通りにやっただけで「宿題をやった」ことになりません。わからない問題でも質問の準備さえすれば宿題をやったことになりません。繰り返します、問題を解いただけでは宿題をやったことになりません。

★ただし、解答をもらっていない人の宿題は、「問題を解くだけ」で終了です。

★講習会中、修業ができます。修業は原則として自習ですが、先生に余裕が出たときにQCができます。ですから積極的に利用してください。

★MIECの宿題は「ガイドライン」です。たとえば10ページの宿題が出ても、今の自分のがんばりで3ページが限界ならそれがかまいません。でももし余裕があるなら先へ進みましょう。無理して全部やるより、確実に少しずつやり、そのあとでスピードアップです。

★やり方がわからない時などどんどん質問して聞いてください。講習会が始まる前でもOK！

Email: info@miec.biz

ライン⇒



新型コロナウイルスの影響その他により、当講習会の日程変更の可能性があります。